

整理番号	25-4	事務事業名	西の里中学校通線 歩道造成事業		作成部署	建設部土木課	電話	内線746
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	斉藤順二	課長職名	深尾 壮	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H12	根拠法令等	道路法					
〃 終了予定年度	H19							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	本路線は、西の里中学校の通学路として指定されており、通過車両が増加していることから、生徒や沿線の歩行者の安全を確保する。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	高い都市機能を持ち、活力にあふれるまち	(第5章)
	節	道路と交通	(第3節)
	施策	人にやさしい道路・交通	(第3施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	児童・生徒及び福祉施設利用者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	歩道の整備を行ない、通学生や沿線の歩行者の安全を確保する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	現況測量・実施設計・用地確定測量(延長)L=1800m 歩道造成(延長)L=1570m(幅員)片歩道W=2.50m
		17年度	歩道造成(延長)L=120m(幅員)片歩道W=2.50m

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金	35,200	27,500	16,500	7,150
	道支出金				
	地方債	11,500	9,000	5,400	2,300
	その他特財				
	一般財源	23,553	13,500	8,100	3,550
	合計	70,253	50,000	30,000	13,000
人件費(概算)	人数(年間)	0.35	0.40	0.30	0.25
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	3,150	3,600	2,700	2,250
総事業費 +		73,403	53,600	32,700	15,250

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	歩道造成	445m	422m	120m	55m
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	歩道整備率	64%	87%	94%	97%
	(整備済延長/全体延長)	(1148m/1800m)	(1570m/1800m)	(1690m/1800m)	(1745m/1800m)
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	歩道整備1m当たり	165千円	127千円	272千円	277千円
		(73403千円/445m)	(53600千円/422m)	(32700千円/120m)	(15250千円/55m)

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	本路線は、西の里中学校の通学路でもあることから、歩道造成について地元から整備促進の要望も強い。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市道整備であるため、市で施工するのが妥当。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	通学生徒や沿線の歩行者の安全な歩行が確保できることから適切である。また、地元からの要望も強い。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	目的を達成する手段としては適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益者負担はなじまない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	歩行者と車両が、完全分離され安全な歩行空間が確保される。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	事業実施にあたっては充分にコスト削減を考慮して設計を行っている。既存の歩道を拡幅する箇所では、縁石や路盤を再利用しコスト削減を行っている。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	計画どおり実施する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり